

## 「第2回 犀川大橋景観検討委員会」議事録

日 時 平成20年2月21日(木) 10:00～12:00

場 所 国土交通省 金沢河川国道事務所 2F 会議室

出席者 (敬称略) 委員長：水野 一郎(金沢工業大学 教授)  
委 員：山岸 政雄(金沢学院短期大学 教授)  
半田 隆彦(金沢経済同友会 理事)  
森田 郁代(市校下婦人会連絡協議会 副会長)  
竹村 裕樹(石川県土木部景観形成推進室 次長)  
坂戸 正治(金沢市都市整備局 局長)  
蓮見 有敏(国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所 事務所長)  
事務局：国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所

議 事 (1) 第1回委員会の議事概要の確認について  
(2) 色彩検討の手順について  
(3) アンケート結果の報告について  
(4) 色彩案について  
(5) その他

## 【色決めに関する意見交換について】

- ・前回のアンケートと今回のアンケート結果が異なるので、合わせて考えてみてはどうか。
- ・資料 P.5 の「色相の絞り込み」については、アンケートの結果を踏まえ、よくまとめていると思う。
- ・アンケート結果を見ると、青系 16%、緑系 17%となっており、双方を合わせると赤系を上回る結果となっている。青と緑については、その区分けが難しいことから「青・緑問題」としてとり上げられている。青と緑については、意識的に分けて応えていない可能性があるため、合わせて考えた方がよいのではないか。
- ・紫系あるいは「灰桜」が良いと感じられる。冬にも暖かみを感じられ、華やかさも感じられる。
- ・橋の形状がごついで、明るめの色がよい。「品格・気品」といったものが金沢らしさを表すものと思われるので、「薄藤」、「藤色」といった色が良いと思う。グラデーションは、工夫を凝らせばおもしろいものになると思う。
- ・浅野川に用いられている暖色系と対比させるため、寒色系とするのが良いと思う。少なくとも上部は、明るい色として軽快さを出した方がいい。
- ・犀川は男川であることから、寒色系が良いのではないか。暖色系と寒色系の2つの山に絞って議論してはどうか。
- ・高欄や照明など、本体と必ずしも同じ色にしなくても良いのではないか。赤系や黄系の明るい色は、汚れてくるのが心配である。
- ・現在の青系も良いと思うが、個人的には赤系も良いと思う。
- ・ブルーに少し緑が入ったものが良いのではない。「錆青磁」が、金沢の香りもありつつ、浅野川の暖色系との対比ともなり、この色を基本としたグラデーションとしてみてはどうか。
- ・今回の検討会では、どこまでの段階に絞り込めばいいのか。今後どのように市民に提示していくのか
- ・(事務局) 今回の検討会で3案ぐらいに絞り込み、次回検討会までの間に市民にはかりたいと考えている。
- ・アンケートの結果を参考として、最終的な結論は検討会で決めていく。
- ・グラデーションについては、すばらしいアイデアであり、市民からも好感が持たれていると思われる。橋の形状から考えると、現在と同様な水平方向のグラデーションが良いと思う。
- ・部材毎の色の塗り分けは煩雑となり、そのストーリー立ても難しいと思われる。垂直方向のグラデーションは、街並みを形成するビルの縦のラインと合わせ、うるさくなることが考えられる。

- ・金沢のまちは、所々に現代的なものを取り込んだものとなっている。現在の青系の色は、現代的なセンスを感じさせる。グラデーションについては是非残していきたい。
- ・グラデーションについては、その考えを踏襲していくことを基本とする。色相については、紫系と青に緑を加えた色、2種類について更に検討する。現在の色も候補として加え、3つの案とする。
- ・伝統色を基本に、どのようなグラデーションとしていくか、検討が必要。紫系は「鳩羽鼠」を最下部の色としてはどうか。青緑系は「錆青磁」を基本色としてグラデーションを考えてみてはどうか。
- ・橋銘板のアクセントについては、地を金箔として、文字を焦げ茶系の色としてみてはどうか。文字周りのでこぼした枠にも金箔を施せば、陰影が出ておもしろいと思う。最も外側の枠は、橋本体と同じ色とすれば良いと思う。資料の P.8にあるように、上部の作に付属する2重丸状の部材にも金箔を施すのは良いアイデアではと思われる。
- ・金を地として黒文字にすることや、その逆とすることについて、例えば宗教的なタブーなどがないか調べておいた方がよい。
- ・照明の灯具や、高欄の色はどうするのか。
- ・付属する施設の色に関しては、本体の色が決まった段階で検討する。
- ・橋の供用年次などがかかっている橋名板が見にくくなっているので、きれいにして欲しい。
- ・アンケートの方法について一考して欲しい。ホームページ上だけでは、パソコンをもっていない方もいるので、回答者の属性が偏る可能性がある。イベントなどに合わせてアンケートを実施するなど、配慮して欲しい。
- ・(事務局) ホームページ以外の方法についても検討する。